

事業報告

第115期 中間営業報告書(自平成15年3月1日 至平成15年8月31日)

営業の概況

(1) 営業の状況

当上半期における我が国経済は、イラク戦争の早期終結により対米経済に明るさが戻る中、株式市況と一部企業業績に回復が見られたものの、個人消費は伸び悩みほぼ横ばい状態で推移いたしました。このような情勢下にあって当社の上半期業績は、映画営業・興行部門がヒット作品に恵まれ大幅に売上を伸ばしました結果、営業収入は489億8千7百万円(前年同期比4.9%増)、経常利益は87億5千5百万円(前年同期比15.5%増)、中間利益は49億9千4百万円(前年同期比8.3%増)となり、それぞれ上半期の新記録となりました。

以下各部門ごとにご報告申し上げます。(各部門とも数字は内部振替控除前のもの)

映画営業 「2003ドラえもんフェスティバル」「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ栄光のヤキニクロード」「名探偵コナン 迷宮の十字路」「あずみ」「スパイ・ゾルゲ」「劇場版ポケットモンスター アドバンスジェネレーション 七夜の願い星ジラーチ」「踊る大捜査線THE MOVIE2レインボーブリッジを封鎖せよ!」等のヒット作品を含む14本を配給いたしました。その結果、映画営業収入は167億3千万円(前年同期比37.4%増)となりました。

映画興行 前記当社配給作品のほかに、「キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン」「リロ&スティッチ」「8マイル」「ターミネーター3」「マトリックス リローデッド」「チャーリーズ・エンジェル フルスロットル」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行収入は112億8千3百万円(前年同期比17.1%増)となりました。なお期中にヴァージン・シネマズ・ジャパン(株)を買収、TOHOシネマズ(株)と商号を変更しました。この結果TOHOシネマズ(株)経営のシネマ・コンプレックス8サイト81スクリーンが東宝グループに加わると共に、4月には同社経営の「ヴァージンシネマズ六本木ヒルズ」(9スクリーン)をオープンさせ、東宝系興行網の拡充を図りました。また、JR札幌駅南口・JRタワーサッポロステラプレイス内に松竹(株)、(株)ティ・ジョイとの共同経営で「札幌シネマフロンティア」(12スクリーン)を3月にオープンし順調に稼働しております。

演劇興行 帝国劇場においては、ミュージカル「ミー&マイガール」と東宝オリジナルミュージカル「風と共に去りぬ」、そして9月に1,800回を迎えた21世紀新メンバーによるミュージカル「レ・ミゼラブル」が輝かしい舞台成果をあげ、大ヒットいたしました。加えて「春は爛漫」、喜劇「口八丁手八丁!」の各公演も盛況でした。

芸術座においては、「港町十三番地」「ちょいといいかな、女たち」「舞い降りた天使」を上演いたしました。

また日生劇場におけるザ・コンボイ・ショウVol.22「PENGUINZA」、新国立劇場における「マッスルミュージカル 2003SUMMER」といった他社との共同作品も評判を呼びました。

さらに全国へ展開する東宝演劇各公演も部門収入に寄与しましたが、演劇興行収入は49億9千3百万円(前年同期比15.9%減)となりました。

テレビ 放送用映画番組は、2時間単発ドラマ「お局探偵6」「お祭り弁護士4」「夏泊殺人岬」「考古学者 佐久間玲子3」他3本、帯ドラマ「愛しき者へ」65本を制作いたしました。番組販売収入を加算したテレビ収入は7億6千9百万円(前年同期比16.9%減)となりました。

映像事業 ビデオ事業は「トリック-劇場版-」「黄泉がえり」「犬夜叉 鏡の中の夢幻城」のVHSレンタル及びDVDセルの他、「リターナー」「ドラえもん のび太とふしぎ風使い」のVHSレンタルが順調に稼働

いたしました。

出版・商品事業は、「踊る大捜査線THE MOVIE2レインボーブリッジを封鎖せよ!」「劇場版ポケットモンスター アドバンスジェネレーション 七夜の願い星ジラーチ」が好調に推移したほか、版權事業で「シカゴ」の配分金収入がありました。

以上により映像事業収入は、96億7千1百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

不動産経営 本年6月の横浜東宝ビル（ロイネットホテル横浜馬車道）オープンによる収入増が寄与し、また積極的に既存テナントの見直しを行いました。一方では再開発による名宝ビルの休業等があり、不動産経営収入は91億6千万円（前年同期比0.9%減）となりました。

その他の営業諸収入は3千万円（前年同期比18.9%減）となりました。

以上の営業収入合計額526億3千9百万円より内部振替額36億5千1百万円を控除した額が前記の営業収入となっております。

中間配当金につきましては、1株5円と決定させて頂きました。

当社といたしましては今後一層の経営の充実を計り、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。